

<p>受 理 番 号 7</p>	<p>少人数学級の実現を求める請願</p>
<p>教 育 福 祉 委 員 会</p>	
<p>提出者</p> <p>日立市金沢町 7-8-11</p> <p>新日本婦人の会日立支部 代表 松本 郷子</p>	<p>請願趣旨</p> <p>茨城県は全国に先駆けて少人数学級を推進してきた県です。県独自の予算で小学校 2 年生まで 35 人以下学級を実現し、さらなる支援策も広げてきました。日立市でも非常勤講師の配置などこれを補完する取組みが行われていますが、原則として小学校 3 年生以上は、40 人以下学級のままです。しかし、さまざまな課題を抱えた子どもたちが増える中、行き届いた教育を保障するためには、少人数学級の実現は長い間の教職員、保護者の悲願でした。</p>
<p>紹介議員</p> <p>小林 真美子</p>	<p>コロナは、この問題をさらに明らかにしました。</p> <p>現在コロナ禍により、学校では感染防止や新たなデジタル化教育のために大変な労苦が強いられています。しかし、36 人以上となったクラスでは机の間を歩く隙間もないとのこと。</p> <p>いったいどのように「密」をさけるのでしょうか？</p> <p>今後はコロナのみならず、新たな感染症の恐れもあり、このままの状態を放置するわけにはいきません。</p> <p>今や少人数学級を求める声は全国的なものとなっています。中央教育審議会の部会で、全国連合小学校長会長は「子どもたちや教職員の健康・安全を確保することが、教育環境整備の最優先事項だ。」と訴えています。もちろん国が取り組むことは急務ですが、現在の状況は一刻も早い実現が急がれます。県内でも市町村で取り組むところができました。</p> <p>「教育がすごい」というキャッチフレーズの日立市として、まずは 35 人以下学級への一歩を是非踏み出してください。</p> <p>ついでに、下記事項を日立市議会として執行機関に対し、要請していただくようお願いいたします。</p> <p>請願事項</p> <p>1. 子どもたちのいのちと健康を守るため、日立市内の全ての小中学校で「3密」を避けるため、ただちに 35 人以下学級を実現して 20 人以下学級をめざすこと。</p>
<p>受理</p> <p>令和 2 年 11 月 17 日</p>	